

四支部合同交流会

日時:平成24年7月24日(火) 会場:東京ドームホテル

「ラスベガス(2009年)」、「真夏の夜の夢(2010年)」、「七福神(2011年)」と毎年様々なテーマによって開催される東京ディスプレイ協同組合の四支部合同交流会。2012年のテーマは、ロンドンオリンピック開幕直前ということもあり、「オリンピック」でした。

照明の落とされた会場を聖火ランナー(なんと理事長!)が一周し、聖火台への点火。正面の巨大スクリーンに大きく炎が映し出された後、短パン・タンクトップ姿は小学生以来という田口理事長による挨拶、交流委員長の開会宣言に、四支部長の選手宣誓。浜田日デ連会長による乾杯音頭で四支部合同交流会はスタートしました。

今年の企画内容は、はTVゲーム機器を使った四支部対抗オリンピック。支部長達の特徴を模した3頭身キャラクター達が、白熱した試合を演じました。

第一種目のカヌー競技は、北支部と南支部が同点首位。第二種目の水泳自由形100mでは、3戦目でそれまでの2戦で連勝していた西支部を脅威の追い上げで南支部が抜き去り、総合得点で首位に躍り出ました。

最終競技の400mリレーでも南支部は安定した成績を残し首位を維持。第二種目の水泳自由形100mで三連敗した北支部がなかなかの頑張りを見せましたが、挽回には至りませんでした。

しかし、田口理事長の物言いで急遽、支部長による最終決戦が確定。このボーナスポイントのよ一発逆転のチャンスを掴んだのは、最終コーナーで東支部に競り勝った北支部でした。

その後の抽選会ではこのゲームの順位により各支部の当選絶対数が決められ、1位の景品Wiiを思い出と共に持ち帰ったのは北支部、今年110周年の株ムラヤマさんでした。

四支部対抗オリンピックの種目の合間に行われた企業PRタイムでは、ブース展示企業による様々なアピールが行われました。

意外かもしれませんが、1968年から発行されている会報誌「ディスプレイ東京」のバックナンバーを確認する限り、組合行事で「オリンピック」をテーマに行ったのは今回が初めて! ちなみに、東京オリンピック開催の1964年は、東デ協の前身「東京展示造型業協同組合」が成立した年であり、四支部はまだ存在していませんでした。

また、1972年(札幌オリンピック)は熱海の旅館で演芸コンクール、1998年(長野オリンピック)は箱根の旅館でウェスタンをテーマに四支部合同交流会を開催していました。

やはり、冬季オリンピックの場合、夏に行われる四支部合同交流会の頃には閉幕しているので、テーマに据えづらかったのかもかもしれません。ですが、もし2020年夏季オリンピックを東京に招致できたならば、さらに盛り上がる四支部対抗オリンピックが開催できることでしょう。

渡辺副理事長による閉会の言葉で幕を閉じた東デ協 四支部合同交流会。サブテーマの「がんばれ!ニッポン!がんばれ!東デ協」という言葉にふさわしい、参加者のエネルギー溢れる交流会になったかと思えます。

スタッフや参加者の皆様、本当にお疲れ様でした。来年もまた皆様にお会いできるのを楽しみにしています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

広報委員 前田奈緒子 (株)マエダ

London Olympic Year

